

ほろ酔い気分で新年のあいさつをしたばかりだと思っていたら、もう2月。昔から「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」といわれます。とはいえ、逃げ足の速い2月を追いかけるように時を過ごせば気持ちが焦るばかりです。改めて時間の大切さを全身で感じながら、ゆったりと構えて暖かい春を待ちたいものですね。

## 知っどこ! 「税」のマメ知識

### 今月のマメ知識：【相続登記が義務化されます】

2024年4月1日から相続登記が義務化されます。登記簿を見ても所有者が不明な土地が全国に多数あり、周辺の環境悪化や公共工事が阻害されるなどの社会問題を解決するために義務化されることになりました。



これにより相続人は、不動産を相続で取得したことを知った日から3年以内に相続登記をすることが義務となりました。正当な理由がないのに相続登記をしない場合は、10万円以下の過料が科される可能性があります。また2024年4月1日より前に相続した不動産も義務化の対象となるので要注意です。相続人の間で遺産分割の話し合いが難しい場合には「相続人申告登記」という簡易な手続きを法務局で行い、義務を果たすこともできます。さらに「遠くに住んでいて利用する予定がない」などの場合は、相続により取得した土地を手放して国に引き渡すことができる「相続土地国庫帰属制度」というものもあります。相続税の申告が必要ない人でも、不動産を相続した場合は必ず相続登記を行いましょう。

## 光を放つ 名言コラム

### 【ええあんばいに気力や体力が落ちる】

90歳まで精神科医として病院勤務を続けた中村恒子氏。『不安と折り合いをつけて うまいこと老いる生き方』(奥田弘美氏との共著)の中で、年を取ることのプラスの側面として「ええあんばいに気力や体力が落ちてくるから欲が少なくなっていく」と語っていました。人は失うことが下手な生き物のようです。年を取って失ったあれこれを取り戻すためのさまざまな商品の宣伝を目にし、少しのお金でどうにかなるものならやってみようという気になる人は少なくないかもしれません。しかし残念ながら「若かった自分」は取り戻せない。一方で「ええあんばいに」衰え、若いときのように無理をしたり、見栄を張ったりすることができなくなると「仕方がない、まあいいか」となって、結果として気楽で自由な生活になります。そう考えると、年齢を受け入れて、いいあんばいに衰えることは前向きなことに思えてきませんか？

## 世界の偉人伝

### 今月の偉人：【伊能忠敬】

伊能忠敬は、江戸時代に日本地図の作成に尽力した人物です。17歳で伊能家に婿入りした忠敬は、商才を発揮して莫大(ばくだい)な財をなします。49歳で隠居した後に天文学を学び「地球の大きさを知りたい」と測量に着手、蝦夷地から九州まで、最終的には幕府を巻き込み、17年の歳月をかけて全国の測量を完了しました。忠敬の死後に完成した地図は驚異的な精度で高く評価されました。「人間は夢を持ち前へ歩き続ける限り、余生はいらない」の言葉どおり現役で歩き続けた人でした。

野菜をゆでたり煮たりするとき、鍋に入れるタイミングは野菜によって異なります。大根などの「根もの(土の中)にできる野菜」は水から、ほうれん草やブロッコリーなどの「葉ものや豆類、果採類(土の上)にできる野菜」はお湯から入れると覚えておくとう便利です。



# 才人の言葉

ゼジョンとは、  
見えないものと  
見る技術だ

アイランドの作家であるジョナサン・スウィフトの言葉。夢を夢で終わらせないためにも「自分のなりたい姿」をいついかなるときでも鮮明に思い描いていよう。

## 振り向けば あそこにも ここにも 「商売のヒント」

### 今月の商売のヒント：【時間の重要性を改めて考えよう】

時間に対する考え方や習慣と年収の関係を調べた調査結果があります。年収 400 万円台の人たちと 1500 万円以上の人たちに「人生の目的や目標を常に意識している」「仕事の目的や意味を常に考えている」「やりたいことリストを作っている」などの質問をしたところ、どの設問に対しても「○」と答えた率が高かったのは年収 1500 万円以上の人たちでした。つまり年収の差を生む要因のひとつは「時間」に対する考え方で「時間」の意識が高い人ほど、成功の確率が上がるのかもしれませんが。際限なく増やしたり貯めたりできて、しかも貸し借りまでできるお金に対して、増やすことも貯めることも貸し借りもできず、一度失うと二度と取り戻せない時間のほうがはるかに大切な資源だというのは、商売をしている人なら常々感じていることでしょう。しかし「多くの経営者は、その時間の大半を“昨日”の諸問題に費やしている」（ピーター・ドラッカー）。これが現実かもしれません。西洋のことわざは「時は“金”なり」ですが、商売上手で知られる華僑の人たちは「時は“命”なり」というそうです。これは相手の時間に対しても同じでしょう。例えば商談のために 1 時間作ってもらうのであれば、商談相手の命の中の 1 時間分を分けてもらっていると考えるのです。商談に 15 分遅れたら相手の命を 15 分間ムダにしたことになります。何の準備もなしに商談をしたら、相手の命はもちろん自分の命も無駄遣いです。改めて時間の重要性に意識を向けてみたいですね。濃密で意義のある時間を過ごせるかどうかは、商売の成功と共に豊かな人生のためのテーマではないでしょうか。



## ナットク! 気になっていたあの言葉

### 今月の気になっていたあの言葉：【ドラッグ・ロス】


海外で承認された治療薬が、日本では使えない状況を指す。問題の背景には日本の国民皆保険制度による低薬価があり、海外の製薬会社が日本市場を敬遠する動きが顕在化している。厚生労働省はドラッグ・ロスの解消に向け、2024年度中に薬の承認審査を担う「医薬品医療機器総合機構」の海外戦略を強化する方針である。

## トナりの本棚

### 【名探偵のままでいて】

大学在学中より放送作家として活躍する小西マサテルのデビュー小説。認知症になった祖父が孫娘と共に日常の謎を解き明かす。心地よく読める一冊です。



元氣と氣づきを提供する  
東京都豊島区池袋の佐藤茂税理士事務所 

豊島区池袋 2-60-7 ルート池袋第 3 ビル 4 階

電話：03-3988-8820 FAX：03-3988-8824

<http://www.satousigeru.jp>